

令和6年度 沖縄県高等学校総合体育大会

第40回沖縄県高等学校アーチェリー競技大会実施要項

主催 沖縄県高等学校体育連盟・沖縄県教育委員会
後援 公益財団法人沖縄県スポーツ協会・NHK沖縄放送局・琉球新報社・沖縄タイムス社・
株式会社ラジオ沖縄・沖縄テレビ放送株式会社・琉球放送株式会社・琉球朝日放送株式会社
主管 沖縄県高等学校体育連盟アーチェリー競技専門部・沖縄県アーチェリー協会

1. 期 日 (1) 総合開会式 令和6年5月31日(金)
(2) 競 技 令和6年6月1日(土)～6月2日(日)(運営、天候等により変更あり)
1日目 開始式 9:30～ 競技開始 10:00～
2日目 競技開始 9:30～ 終了後、閉会式

2. 会 場 (1) 総合開会式 沖縄県総合運動公園レクリエーションドーム
(2) 競 技 宜野湾高等学校アーチェリー競技場

3. 競技規定 令和6年度公益財団法人全日本アーチェリー連盟ターゲット競技規則による。

4. 競技方法

- (1) 70mラウンド(男女共、70mの36射の2回)と、20mラウンド(20mの72射)の個人戦。
- (2) 70mラウンド上位3名か、20mラウンドの前後半36射のどちらか高い得点上位の合計をもって団体戦の得点とする。

5. 参加資格

- (1) 沖縄県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
- (2) 令和6年度沖縄県アーチェリー協会又は身障者アーチェリー協会に登録済みの者であること。
- (3) 平成17年(2005年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け在学する学校長の承認を必要とする。但し、学校感染症に感染している生徒の参加は認めない。
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住等やむを得ない事情の場合は、所属高等学校長の申請により、県高体連会長の認可があればその限りではない。
- (7) その他の事項については、全国高校総体実施要項及び全九州高校体育大会実施要項に準ずる。
- (8) 学校感染症に罹患している生徒の大会への出場は認めない。
- (9) 参加資格の特例
上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(8)の大会参加資格を満たし、かつ大会参加資格の別途に定める規程に該当する生徒の大会参加を認める。

6. 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、沖縄県高等学校体育連盟会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は高体連に登録するとともに、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

7. 参加制限

- (1) 団体戦は、1校男女各1チームとする。
- (2) 個人戦は制限なし。

8. 参加申し込み

- (1) 申し込み方法
(ア) 参加者は、選手団を編成し所定の用紙に必要な事項を記入のうえ申し込むこと。
(イ) 申し込み用紙を2部作成し、期日までに申し込むこと。電話による申し込みは受け付けない。
また、「競技申込書(Excelファイル)」をメールで「tairamt@open.ed.jp」(向陽高校:平良六二あて)へ送ること。
- (2) 申し込み先 〒900-0026 沖縄県那覇市奥武山町 51-2 沖縄県体協スポーツ会館 303号室
沖縄県高等学校体育連盟会長 宛
- (3) 申し込み締切 令和6年5月8日(水)12:00必着(締切り時間後は受け付けない)

9. 大会参加費

参加申込生徒一人当たり300円とし、参加申込書に記載された選手数(マネージャー、補助員等は除く)を乗じた額とする。

10. 抽 選 会 令和6年5月10日(金)15:00本部抽選とする。(向陽高等学校)

11.表彰 優勝チームには賞状・優勝旗・メダルを、2～3位チームには賞状を授与する。
個人優勝者には賞状・メダルを、2～3位には賞状を授与する。

12.連絡事項

- (1) 個人情報保護については「沖縄県高体連個人情報保護方針」に従って取り扱います。
- (2) 競技中の疾病傷害などの応急処置は主催者側で行うがそれ以上の責任は負わない。
- (3) 着衣は、原則(公財)全国高体連アーチェリー専門部の服装規定に従う。
- (4) 雨天時はレインコート着用を認める。
- (5) 弓検査は競技開始30分前から行う。
- (6) 採点は選手相互の看的で、得点の読み上げは同一立順の相手が行い、記録補助員が記入し、選手本人がこれを確認する。得点に異議があるときは審判を呼んで判定させる。